



(写真提供：稲荷神社)

霜月 水戸 大串のささら

旧常澄村大串の稲荷神社は大同2年(807)の創建といわれ、うかのたまのみこと倉稲魂命を祀っています。水戸徳川家とのつながりも深く、五穀豊穰、商売繁昌、疫病除去、海上安全の守護神として信仰されてきました。

散々楽躰子は棒ささらの形式をとる、三体の獅子頭による獅子舞です。その見所は「親子の場」。親獅子がはぐれた子獅子を捜しあてる情景が演じられており、親子の深い愛情が表現されています。

現在、ささらは稲荷神社の例祭に奉納されていますが、かつては数百人もの行列が大挙して水戸城下を練り歩いたものです。

大串のささらは昭和41年に県の民俗資料指定文化財に、昭和48年には国の無形文化財に指定されています。

期日：11月23日

場所：水戸市大串町、稲荷神社

(JR常磐線水戸駅下車、

茨城交通バス大洗方面行き常澄支所前下車徒歩10分)